

平成 30 年度 四職能・災害看護検討委員会合同会議

テーマ「地域で起こりうる災害を、みんなで考えよう

～地域での災害ネットワーク作り～

平成 30 年 8 月 25 日（土）13 時～16 時 30 分

鹿児島県看護協会会館 3 階研修室

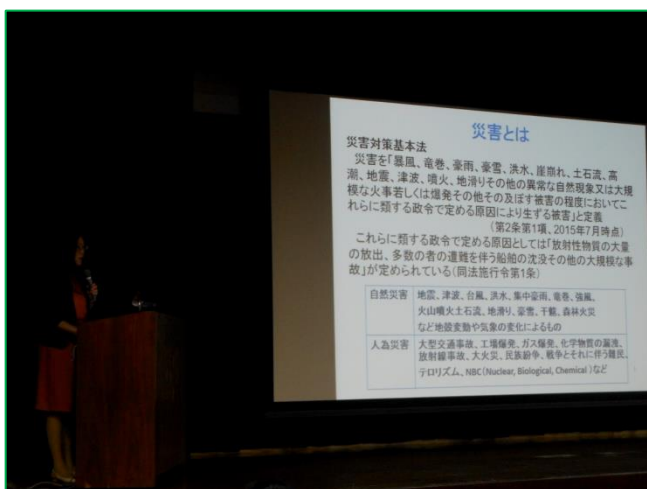
1. 災害看護の基礎知識～災害時に求められる災害支援活動～

講師：国際医療福祉大学大学院 災害医療分野教授 石井美恵子氏

2. 地域別グループワーク「自分の地域で起こりえる災害を考えよう」

今年の四職能合同研修は、「災害看護」をテーマに災害看護検討委員会と合同で開催しました。保健師 28 名、助産師 9 名、看護師 79 名、准看護師 3 名、その他 2 名、合計 121 名の参加がありました。

はじめに、鹿児島県看護協会田畑会長のあいさつでは、災害支援ナースを自施設から育て、地域の中で活躍するコーディネーターを育てることが災害への備えになるため、災害支援ナース倍増計画への協力を呼びかけました。



災害看護の基礎知識～災害時に求められる災害活動支援～ 石井美恵子先生の講演では、実際に災害現場での体験を交えながらのお話しを聞くことができました。普段の災害への備えの重要性や、災害後の目標復旧レベルを実現する為の対策の点検や更新の必要性を学ぶことができました。また、先生の講演を聞き、自分自身で出来ることを考える機会を得ることができました。



グループワークでは、地域別に集まり自分達の地域で起こりえる災害について、また自施設での問題等について活発な意見が交わされました。患者さんを守り、自分自身を守り、地域を守る事ができるよう、自分達に今できることを実践していきましょう！！